

事業名：女性喫煙者対策のための禁煙推進サポーター・リーダー育成事業

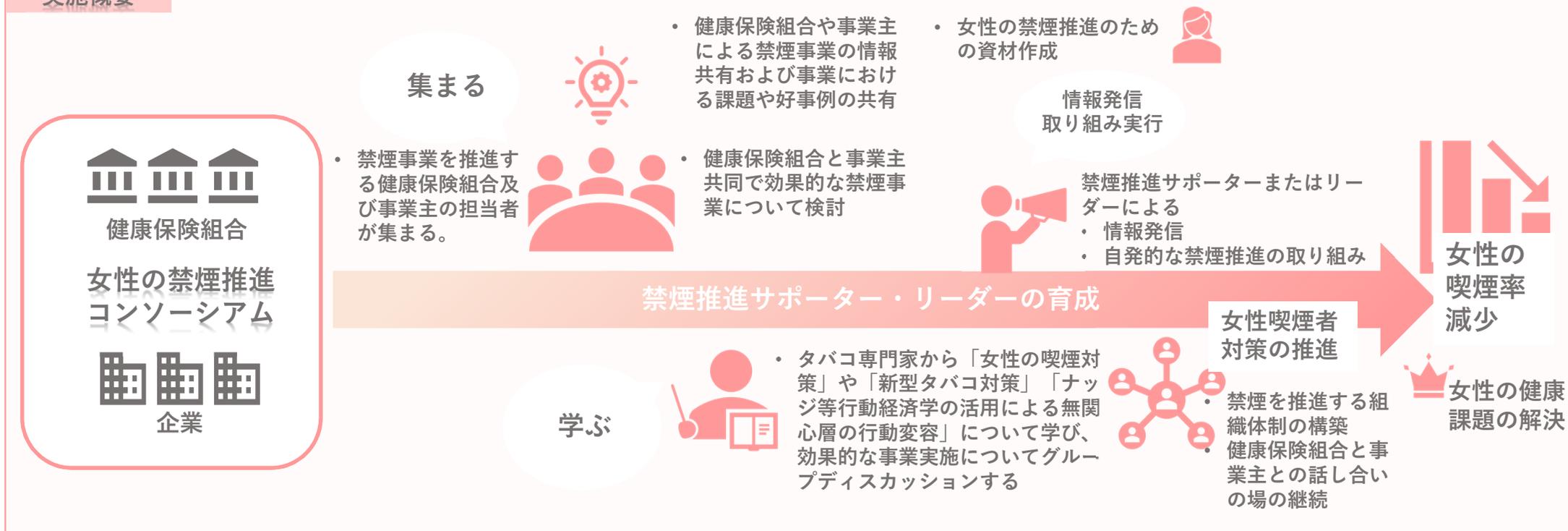
主幹健保名：野村証券健康保険組合

参加健保総数：6組合

うち加入者1万人未満の健保の割合：50%

背景	国民健康・栄養調査によると、全国的に女性の喫煙率は長年ゆるやかにしか減少しておらず、健康保険組合においても、女性の喫煙率が減少しないという課題がある。女性喫煙者の健康リスク（がんや虚血性心疾患などのリスクの他、女性ホルモン分泌の抑制作用により、骨粗しょう症・不妊・閉経が早まる、妊娠中の喫煙による早産・低体重児出産への影響など）の重大性や女性喫煙者の特徴（女性の禁煙は成功しにくいなど）を健康保険組組合や事業主の保健事業担当者が十分に理解していなく、女性の喫煙者に着目した事業がほとんど実施されていない。
事業目的	上記の背景を踏まえて、本事業では健康保険組合と事業主が女性の喫煙対策についてディスカッションする場や学びの場をつくり、女性喫煙者対策を推進するサポーター（喫煙者の禁煙サポート）やリーダー（事業の推進）を育成することを目的とする。禁煙推進サポーターやリーダーが、禁煙事業を効率的に且つ継続的に推進することで、女性の喫煙率が減少し、女性の健康課題を解決することを長期的な目標とする。

実施概要



令和3年度高齢者医療運営円滑化等補助金における「レセプト・健診情報等を活用したデータヘルスの推進事業（保健事業の共同化支援に関する補助事業）」

本事業の特徴/期待されるメリット

✓ 女性の喫煙対策の課題や事例をコンソーシアムで情報共有

特に中小規模の健康保険組合では女性の喫煙者の人数は多くないことから、健康保険組合単独で女性の喫煙者への対策方法を検討することは困難である。コンソーシアムでは、健康保険組合に加入する事業主の担当者も一緒に喫煙対策事業における課題や好事例を共有することでより適切な対策を検討することができる。

✓ タバコ専門家の意見を踏まえた禁煙推進サポーター・リーダー育成

健康保険組合または事業主の禁煙推進サポーターおよびリーダーは、タバコの専門家より、女性の喫煙対策に対して最新且つ適切な知識を得ることができる。さらにグループディスカッションを通して、禁煙対策事業を実現可能な方法まで検討することができる。

✓ 女性の喫煙者に届く、禁煙事業を推進するPR資材を作成

女性喫煙者の禁煙を促進するPR資材を、タバコ専門家の意見や、健康保険組合および事業主がディスカッションした上でアイデアを持ち寄り作成する。

スケジュール

令和3年4月	令和3年5月	6月	7月	8月	9月
			キックオフミーティング (現状分析、課題や好事例の共有等)		専門家講演 ディスカッション①
10月	11月	12月	令和4年1月	2月	3月
専門家講演 ディスカッション②	専門家講演 ディスカッション③		今後に向けた ディスカッション	事業評価	報告書とりまとめ 今後の継続的な取り組み方針の決定
禁煙事業PR資材作成 情報発信					

コンソーシアム

健康保険組合

◎主幹健康保険組合

◎ 野村証券健康保険組合

東京ドーム健康保険組合

日本マクドナルド健康保険組合

三菱電機健康保険組合

ポーラ・オルビスグループ健康保険組合

ワコール健康保険組合

専門家

京都大学大学院医学研究科・社会健康医学専攻健康情報学講座
特任教授 高橋裕子氏
「職場の女性の喫煙対策」の講演、現状分析へのアドバイザー

帝京大学大学院公衆衛生学研究科
教授・研究科長 福田吉治氏
「ナッジ等の行動経済学を活用した喫煙者（無関心層）の行動変容を促す方法」の講演、効果的な事業案内や資材作成へのアドバイザー

大阪国際がんセンターがん対策センター
疫学統計部 副部長 田淵貴大氏
「女性の新型タバコ（加熱式タバコ等）」の講演、新型タバコ対策へのアドバイザー

株式会社JMDC
事業運営支援、
事業評価、報告書作成